

運送業界の健康支援を生きがいに

128 元気な中高年の活用で人材不足を補う

1月15日、軽井沢で起きたスキーバスの転落事故により15人が死亡した大惨事は、国中を震撼させました。その後もバス事故の報道が続き、業界(社会)のゆがみが一挙に噴き出したかのように思われますが、トラック事業者にとっても「対岸の火事」ではないと、本紙読者は感じておられるのではないのでしょうか。そして、事故原因の根底にもなった「人材不足」を克服するためのハードルは、ひときわ高いように思われます。

●3年前にも同じテーマで

そこで、今回の「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」では、人材不足を補うための中高年の活用について討議いただくことにしました。

実は両輪会では、2013年2月にも、「待ったなし! 高齢ドライバー対策をテーマに、

高齢者の健康や働き方について討議していただいていますので、今回のテーマはいわば第2弾と言えるかもしれません。そして、高齢者問題は3年前からさらに深刻化し、年々1歳ずつアップするドライバーの平均年齢を目の当たりに、健康問題、雇用延長問題などへの不安を募らせているような気がします。

「65歳までの雇用延長のルールづくりができたばかりと想っていたら、もう70歳延長を検討せざるを得ない」とは、あるトラック事業者のコメントです。

●心に響く時間を共有

前回は管理面、安全面、健康面の側面からディスカッションを行っていただき、実に多くの意見が出されました。当時の記録を再読すると、お困りごとの

多さが浮上している半面、有効な対策の提案もすでに何点か上がっています。今回はこれらの生きたご意見をベースにしながら、どうやって多くの事業者様に水平展開して参考にしていただけるか、さらに3年間の熟成期間を経て対策へと進化させることができるかなども、事業者様と議論できればと思います。

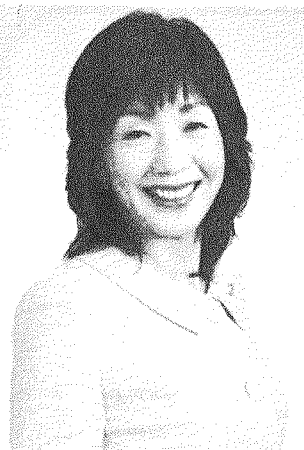
両輪会では、いつも、このような難しいテーマに挑戦しています。したがって、正解や結論をまとめる会ではありません。参加された方が、「他社も同じ問題を抱えている」「この取り組みは当社でも使えるかも?」「こんな考え方もある」など、心に響くような時間を共有していただくことが目的です。どうぞお気軽に、実践的な意見交換会にご参加なさってください。

日時 2月25日(木)、午後1時30分から5時まで

場所 大阪府トラック総合会館 601-B

テーマ 「人材不足を乗り切るための中高年の活用について」～安全運行と健康管理の側面から～

(次回は3月14日号に掲載)



《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)
副理事長 作本 貞子
「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表
TEL: 06-6965-3666
FAX: 06-6965-5261
東京オフィス TEL: 03-3295-1271
E-mail sakumoto@ochis-net.com
HP <http://sas.ochis-net.jp/>